

ル・プランス画 『ロシアの様々な服装と習慣』王立絵画彫刻アカデミーの会長、並びにゴブラン製造監督官である画家F. ブーシェ氏にささげる。謙虚で従順な召使いの弟子ル・プランスによるロシアでの写生と腐蝕銅版画作品

Le Prince, Jean Baptiste. Divers ajustements et usages de Russie dédiés à Monsieur Boucher, Peintre du Roy Recteur en son académie Royale de peinture et sculpture et sur inspecteur de la fabrique des gobelins, par son très humble et très obéissant serviteur et son élève Le Prince. Desoinés en Russie d'après nature et gravés à l'eau forte. [Paris] [1764-1768] 34 plates (copper. mono.) 33.2×24.3cm 383.138-L (文献番号5-1)
Hiler p.539-40 Colas 1838-50 Lipp.1339

フランスの画家で版画家ル・プランス (1734-1781)は、モーゼル地方のメッスに生まれた。彼はブーシェ (F. Boucher) のアトリエで絵画を学んだのち、1754年イタリアに遊学。次いで1757年ロシアに赴き、そこで民衆生活を題材とした風俗画をエッチングで描いた。また同年、ロシア皇帝から委嘱されてセント・ペテルスブルク (旧レニングラード) 宮廷の天井画を描き、注目される。1763年パリにもどり、2年後、王立美術アカデミーの教授に就任した。18世紀中期ヨーロッパでは銅版画が広まり、イギリスやドイツでは、幾つかの技法上の変革が起きていたが、フランスでも、ル・プランスが1768年にアクアティント版の手法を発見した。しかし、一般的にはロ可可調の風景画とロシアの民衆画を描いた画家として知られ、簡潔で繊細な描画は後代のロシア民族服の文献に引用されている。

本書はその代表作であるロシアの服装や習慣を描いた連作から、5部作を合本した図集である。内容は、1.「ロシアの様々な服装と習慣」Divers ajustements et usages de Russie. [1764]図版10枚。①扉 ②占い老婆 ③むつまじい姉妹 ④ヴァルダイ台地の女子服 ⑤商いからもどった女たち ⑥・⑦フィンランド海岸、ダングリー地方の女 ⑧女性の変った重荷の運び方 ⑨冬の散歩 ⑩親切。2.「北国の人々の様々な服装の連作」Suite de divers habillements des peuples du Nord. [1765]図版6枚。①市民の女性 ②若い羊飼いの女 ③夏の娘と女性のかぶりもの ④散歩の帰り道 ⑤婦人と子供たち ⑥市民の妻たち。3.「諸国民の服装」Habillements de



精巧なデザインとエッチングによる本書の扉

diverses nations. [1765] 図版 6 枚。①扉 ②ポーランドのユダヤ人 ③ポーランドのユダヤ女性 ④タタールの将校 ⑤トルコの将校 ⑥ロシアの神父。4. 「諸国民の服装, 第 2 集」II^e suite d'habillements de diverses nations. [1768] セピア単色刷り図版 6 枚。①～③シュヴァシェの女性 ④アルカンゲルの女性 ⑤グルジア人 ⑥モスクワ郊外の女性。5. 「モスクワ公園の女性の衣装連作, 第 2 集」II^e suite d'habillements des femmes de Moscovie. [1768] 図版 6 枚。①ウラル地方, ヴォティアックの女性 ②簡素な服を着たモスクワ市の農婦 ③ヴェールをかぶったモスクワの女性 ④フィンランドの娘 ⑤きのこ売りの女性 ⑥ロシア人の老女。

以上, 34枚のエッチングを収めているが, 連作には他にロシアの親衛兵, セント・ペテルスブルク周辺の人々, モスクワの商人や物売りの姿が描かれている。これらの連作は、『ル・プランス作品集, 様々な人々の服装と習慣』Oeuvre du J.B. Le Prince, sur les mœurs, les coutumes et les habillements de différents peuples と呼ばれ, 初版では個別に刊行されていた。



第 2 集の扉, ヴォティアック
(今のボトゥギンスク?)の女